

臨床ゲル線量計コンソーシアム 2025

プログラム

臨床でゲル線量計は使えるの？使えるようになるの？

13:00 Opening

13:05 協賛企業による製品紹介

13:15 特別講演

座長：大平新吾先生（東京都立大学）

- 医師の視点から見た放射線治療と位置精度

白井克幸先生（自治医科大学附属病院）

13:35 XCT-GEL

座長：大平新吾先生（東京都立大学）

- ゲル線量計を用いた3D-Starshot

大鹿理貴先生（国立がん研究センター中央病院）

- 3D-Starshot を実施する上での CBCT 撮影条件

高橋真一先生（国立がん研究センター東病院）

- 3D-Starshot多施設試験とそこからみえたもの

高橋侑大先生（自治医科大学附属病院さいたま医療センター）

14:45 特別企画 -全国津々浦々 3D-Starshotやってみた-

座長：高橋良先生（国立がん研究センター東病院）

- 3D-Starshotってどうやるの？

高橋侑大先生（自治医科大学附属病院さいたま医療センター）

- 3D-Starshotを実際にやってみて

永見範幸先生（佐賀大学医学部附属病院）

若山司先生（兵庫医科大学病院）

上間達也先生（がん研有明病院）

井村航先生（神奈川県立がんセンター）

- 総合討論

ー休憩 5分ー

15:25 光学CT × GEL 座長：小島礼慎先生（金沢大学附属病院）

- 光学CT装置を用いたRadiochromicゲル線量計の3次元線量分布解析

姜裕錫先生（自治医科大学附属病院）

- ゲル線量計の臨床利用に向けて

飯島康太郎先生（順天堂大学附属病院）

16:05-16:45 MR-GEL 座長：小島礼慎先生（金沢大学附属病院）

- 安定したMRベースポリマーゲル線量計の利用に向けたMRスキンの品質管理

橘英伸先生（国立がん研究センター東病院）

- ゲル線量計を用いた陽子線測定

中岡藍先生（国立がん研究センター東病院）

臨床に向けたゲル線量計の適切な普及を目指し、本団体を発足しました

少しでもご興味のある方、ご参加お待ちしております

日時

2025年

3月23日（日）

13:00-16:45

会場

オンライン(Zoom webinar)
ZOOMアカウントが必要です

参加費

無料

応募締切

3月20日（木）

定員 500 名



参加登録はこちらから

主催：臨床ゲル線量計コンソーシアム
特別協賛：株式会社トライアングルプロダクツ

取得可能単位
医学物理士認定機構カテゴリーIIコード
G1/G2（後日、電子配布予定）

お問い合わせ先：臨床ゲル線量計コンソーシアム

Email:yuta-17@jichi.ac.jp



CLINICAL
GEL DOSIMETER
= CONSORTIUM =

臨床ゲル線量計コンソーシアムからのご挨拶

拝啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

このたび新たに、5名の有志の下、臨床ゲル線量計コンソーシアムという団体を発足いたしました。

1950年代からの歴史をもつゲル線量計は、これまで数多くの研究者たちの力で改良されてきました。真の三次元測定が可能なゲル線量計の独自性は、臨床における有用性を導き出せるものと信じています。そこで、ゲル線量計開発に携わる研究者だけでなく、臨床に携わっている医療者の立場からもゲル線量計の普及に貢献できないかと考え、本会を発足いたしました。またゲル線量計を主体とし、その他にも放射線治療に関わる様々なトピックスについて共有していけたらと思っております。

そして今回、記念すべき第1回目、「臨床ゲル線量計コンソーシアム2025」を本会にご賛同下さった講師の先生方のご協力の下主催させていただき運びとなりました。

これからどうぞ、よろしくお願いいたします。

敬具

臨床ゲル線量計コンソーシアム

代表理事	高橋	侑大
理事	大平	新吾
理事	小島	礼慎
理事	上間	達也
理事	高橋	良



CLINICAL
GEL DOSIMETER
= CONSORTIUM =